

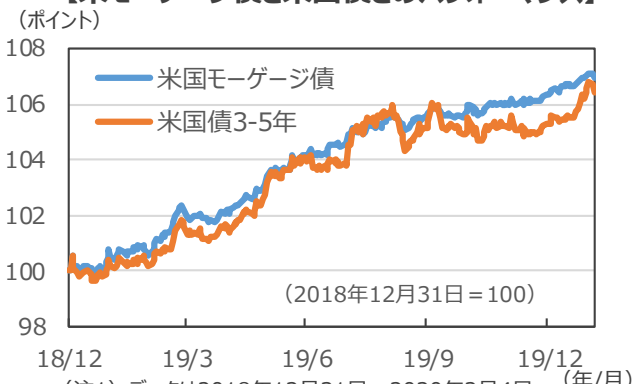


今日のトピック **米モーゲージ債は堅調に推移（2020年2月）**
緩やかな経済成長のもと高利回りが魅力

ポイント1 米モーゲージ債は堅調推移
米国債との利回り格差も安定的

- 米国モーゲージ債は堅調に推移しています。足元でも新型コロナウイルスの拡大懸念による米国債利回り低下を受けて堅調な推移を続けており、2月3日までの年初来騰落率は+0.7%となっています。
- 国債との利回り格差はやや拡大しています。金利低下局面ではモーゲージの早期償還が増える関係でモーゲージ債の利回りが米国債ほどは低下しないためです。中長期的には安定的に推移しています。

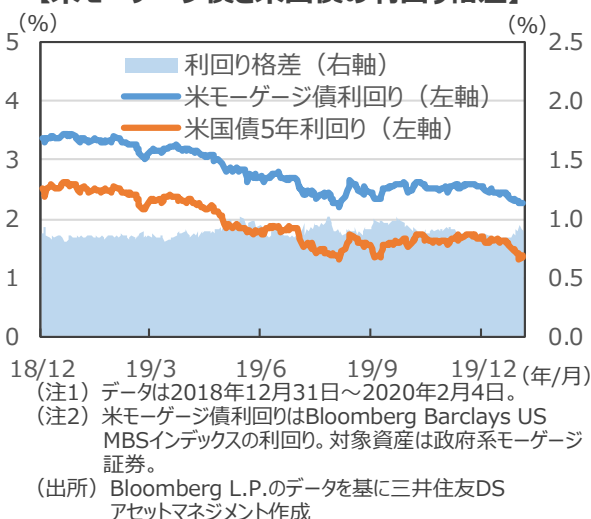
【米モーゲージ債と米国債とのパフォーマンス】



ポイント2 国債比上乗せ利回りが魅力
米の金融政策は現状維持

- モーゲージ債が堅調に推移している背景として、米連邦準備制度理事会（FRB）が保険的な利下げを終了したものの、早期利上げも否定していることから、低金利の長期化が意識されていることがあげられます。また、金融政策の現状維持が続くとの見方が増えたことで、米国債市場の変動率が低下しやすい地合いも好材料と考えられます。
- こうした中、国債対比での上乗せ利回りを求めた投資家の需要がモーゲージ債の堅調な推移に繋がっている模様です。本邦投資家にとっても、為替ヘッジコスト控除後で依然としてプラス利回りが残るモーゲージ債は魅力的とみられます。

【米モーゲージ債と米国債の利回り格差】



今後の展開 今後も底堅い展開を見込む

- 今年の世界経済は米中関税引き上げの動きが一巡する中、緩やかに回復すると予想します。米国の金融政策は、インフレ率が低位で推移しているため、長期間緩和的な政策が維持される見通しです。従って、米国の長期金利は徐々に上昇するものの、その上昇幅は限定的なものに留まるとみられます。新型コロナウイルスの感染拡大が世界景気に与える影響を見極める必要はありますが、今後もモーゲージ債市場は底堅い展開が予想されます。

ここもチェック! 2020年1月30日 FRBは政策金利を据え置き（2020年1月）
2020年1月16日 主要な資産の利回り比較（2019年12月）
新型肺炎の影響を警戒
先進国国債利回りが上昇

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。